

「川の体感フィールド」 日吉津村

日吉津村では「水辺の楽校^{みづべのがくこう}」についての紹介をさせていただきます。日野川の河口部周辺の豊かな自然を生かしながら、川へのつながりを体感できるフィールドとして、環境保全やバリアフリー化などに配慮しながら、子どもからお年寄りまでが楽しめるように整備するものです。この計画の発端は、「昔は日野川で水泳をしたり、魚をとったり、いろいろな遊びが出来たことを子どもたちにも伝えたい」という想いから始まりました。住民参画によって計画を立て、自然との触れ合い、安らぎの空間創出、防災強化、スポーツ振興、健康づくりという5つのテーマを決定し、事業展開を進めています。



日吉津村長



水辺の楽校

日吉津

「伝統漁法を子どもたちへ」 岸本町

岸本町での日野川は川幅も広くかなり大きな川になっています。ここでは毎年アユの友釣り大会を行っています。釣られた魚は社会福祉協議会に寄附していただき、デイサービスなど色々なところで利用する工夫もしています。また、町内には「手押し」というアユのつかみ取り漁をする人がおられます。その方に協力していただき、子どもたちが川で魚をとり、ふるさとの川での思い出を作って傳承していく取り組みもしています。子どもたちが川に行き遊べるような雰囲気をつくってやりたいという気持ちで、毎年いろいろと考えているところです。



岸本町長



手押し漁のようす

岸本

「ホテルの里づくり」 会見町

法勝寺川の支流であり町内を南北に流れる小松谷川。そのさらに支流にあたる川に金田川という川があります。ここでは10年来、「蛍を飛ばして観賞しよう」という取り組みが続けてこられました。年々飛ぶ蛍の数も多くなり、最近では町内はもとより町外からも、多くの方々が来られるようになりました。地区を挙げて川の清掃、あるいは蛍のえさになるカワニナの放流、種蛍や幼虫の放流。そういった取り組みがこの地域の活性化、まとまりを形成するのに非常に役に立っているように思います。また、現在工事に取っかかっている朝錫ダムのダム湖土流部分には住民あるいは町外の方にも自然に触れただけのような、親水公園というスポットをつくりたいと考えているところです。



会見町助役



子ども達による幼虫の放流

会見